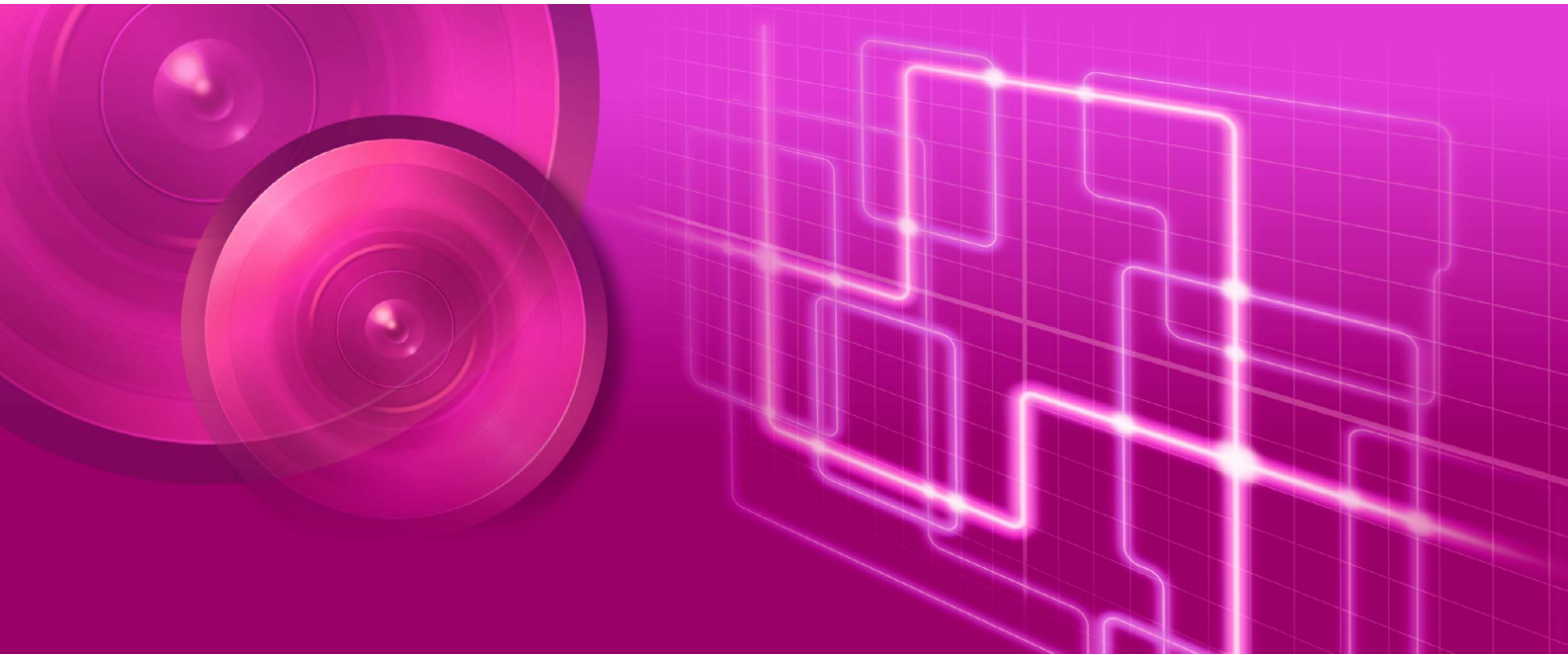




ネットワークカメラ

録画映像ユーティリティ 使用説明書



ご使用の前に必ずこの使用説明書をお読みください。

日本語

はじめに

この使用説明書は、録画映像ユーティリティ (以下、「本ユーティリティ」) の設定や操作方法について説明しています。ご使用前によくお読みになり、本ユーティリティを正しく利用してください。

* 本書に記載しているカメラには、国または地域によって販売していない機種もあります。

製品に関する最新情報 (ファームウェアやソフトウェア、使用説明書、動作環境など) は、ホームページをご確認ください。

この製品の使用に関するご注意 (免責事項)

■ ネットワークセキュリティ

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。

不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

<対策例>

- カメラのパスワードを定期的に変更する。
- カメラのHTTP、HTTPSポート番号を変更する。
- 通信機器でカメラへのアクセス制限を行う。

その他、対策のポイントについては、次のホームページでも紹介しています。合わせてご確認ください。

<http://cweb.canon.jp/e-support/information/security/index.html>

■ 著作権

お客様が撮影した映像や画像、録音した音声などは、著作権法上、権利者に無断で使用・公開することはできませんのでご注意ください。

■ ソフトウェアの使用許諾契約

ソフトウェアの使用許諾契約については、インストーラーとともに提供されるテキストファイルをご確認ください。

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

商標

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Windows Server、Windows MediaおよびActiveX は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- 本製品には、Microsoft 社より使用を許諾された exFATファイルシステムの技術が組み込まれています。
- SD、SDHC、SDXC、microSD、microSDHC、microSDXCロゴは SD-3C、LLC の商標です。
- ONVIF® は、Onvif, Inc. の商標です。
- その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。

カメラの廃棄

カメラを廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。
その際、メモリーカードの抜き忘れに十分ご注意ください。

使用説明書について

本ユーティリティをお使いいただくうえで、この使用説明書を含めて、カメラに付属する使用説明書をお読みいただく必要があります。

■ ご注意

- 1 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 2 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気づきの点がございましたら、裏表紙に記載のお客様相談センターまでご連絡ください。
- 4 運用した結果の影響につきましては、上記2項、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。



本書の使いかた

本書はPCの画面上に表示して読むことを想定しています。

■ ソフトウェアの画面例

本書に記載されているソフトウェアの画面は、説明のためのサンプルです。実際の画面とは異なることがありますので、ご了承ください。また、説明には主にWindows 8.1の画面を使用しています。

■ 注意を示す記号

アイコン	意味
 重要	この記号は、重要事項や制限事項が書かれています。必ずお読みください。
 メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

	はじめに	2
	この製品の使用に関するご注意 (免責事項)	2
	商標	2
	カメラの廃棄	3
	使用説明書について	4
	本書の使いかた	4
1章	ご使用の前に	
	録画映像ユーティリティでできること	8
	録画映像ユーティリティとは	8
	メモリーカードに保存されるデータ	8
	動作環境	10
	システム要件	10
	対応カメラ	10
	インストール	11
2章	録画映像ユーティリティの操作	
	録画映像ユーティリティを起動する	14
	起動する	14
	メイン画面各部の名称	15
	映像一覧を操作する	16
	映像一覧の表示内容について	16
	最新の状態に更新する	16
	メモリーカードの情報を表示する	17
	映像一覧に表示する映像を絞り込む	17
	映像をダウンロードする/削除する	18
	映像をダウンロードする	18
	映像を削除する	19
	PCにダウンロードした映像を別のフォルダに移動する	20
	再生可能な動画ファイルにエクスポートする	20
	ダウンロードしたデータについて	21
	映像を再生する	23
	JPEG映像の再生	23
	H.264映像の再生	24
3章	付録	
	メッセージ一覧	28
	警告メッセージ	28
	エラーメッセージ	29
	トラブルシューティング	31
	索引	32

1 章



ご使用の前に

本ユーティリティの機能の概要や実際の運用のあらまし、動作環境、インストール方法など、本ユーティリティのご利用にあたって知っておいてほしいことを説明します。

録画映像ユーティリティでできること

録画映像ユーティリティとは

録画映像ユーティリティとは、メモリーカードに保存した映像に使用するソフトウェアです。
本ユーティリティでは次のことができます。

録画映像を管理する

映像の一覧を表示する

カメラで録画した映像を一覧で表示します (P. 16)。

絞り込む

フィルター機能を使用することにより目的の録画映像が探しやすくなります (P. 17)。

更新する

一覧に表示されている映像の更新をします (P. 16)。

録画映像を再生する

JPEG映像で見る

JPEG映像の再生をします (P. 23)。

H.264映像で見る

H.264映像の再生をします (P. 24)。

H.264映像を外部プレーヤーで見る

H.264映像を外部プレーヤーで再生します (P. 26)。

録画映像を編集する

映像をダウンロードする

メモリーカードに録画されている映像を、PCへダウンロードします (P. 18)。

映像を削除する


メモリーカードの映像、PCにダウンロードした映像を削除します (P. 19)。

再生可能な動画ファイルにエクスポートする

PCにダウンロードした映像を、PCで再生可能なmov形式の動画ファイルにエクスポートします (P. 20)。

メモリーカードに保存されるデータ

カメラにセットしたメモリーカードには、次の映像が保存されます。

- ビューワーの  [メモリーカード録画] ボタンで手動録画した映像
- ネットワーク異常のために配信できなかった録画ストリームの映像*(JPEGのみ)
- HTTP/FTPアップロードに失敗した映像*
- [外部デバイス入力]、[音声検知] およびインテリジェント機能によるイベント発生時の記録映像*
- タイマーによる記録映像*
- ONVIFによる記録映像

* カメラの設定ページの [メモリーカード] > [メモリーカードの操作] で、[動作設定] を [ログと映像を保存する] を設定したときに自動的に保存されます。

メモ

- メモリーカードの残り容量がなくなると、メモリーカードへの保存はできなくなります。カメラの設定ページの [メモリーカード] > [メモリーカードの操作] > [映像の上書き] を [有効] にすると、古い映像を削除し、新しい映像を保存できます。[無効] にしている場合は、不要になった映像を本ユーティリティで削除してください。
- メモリーカードに大量の映像ファイルを記録すると、本ユーティリティで映像一覧を表示する際に、ファイル数に比例して時間がかかるようになります。カメラの設定ページの [メモリーカード] > [メモリーカードの操作] > [映像の自動削除] で保存期間を短く設定したり、本ユーティリティで定期的に手動で削除するなど、不要な映像ファイルはできる限り削除するようにしてください。
また、メモリーカードに記録する映像フォーマットにH.264を指定すると、JPEGで記録するときよりも映像ファイル数を抑えることができます。
- カメラにセットしたメモリーカードの操作についての詳細は、『操作ガイド』の「メモリーカードの操作」を参照してください。

動作環境

製品に関する最新情報 (ファームウェアやソフトウェア、使用説明書、動作環境など) は、ホームページをご確認ください。

システム要件

録画映像ユーティリティの動作環境は次のとおりです。

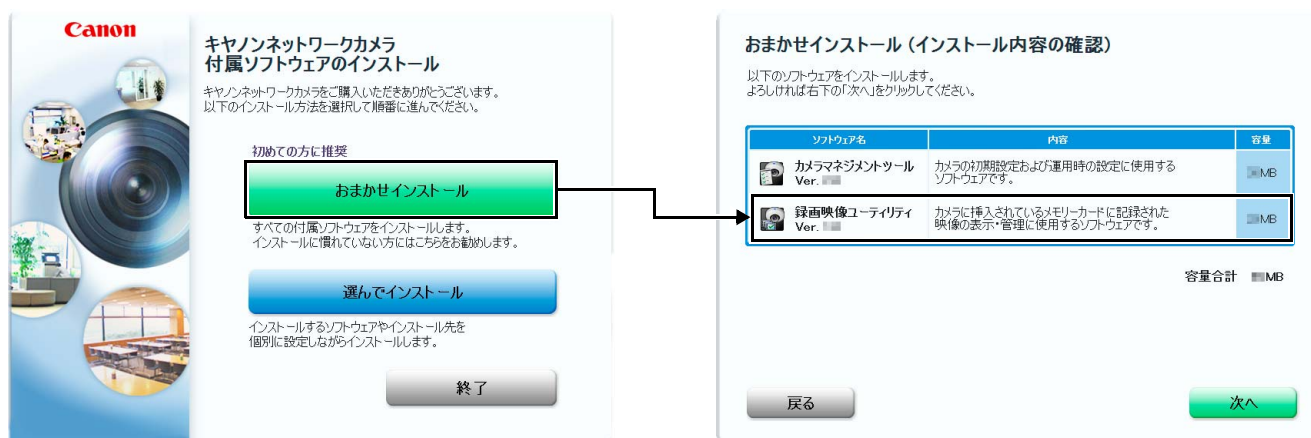
CPU (推奨)	Intel Core i7-2600 以上
OS	Windows 7 Ultimate/Professional/Enterprise/Home Premium SP1 32/64-bit Windows 8.1/Windows 8.1 Pro/Windows 8.1 Enterprise 32/64-bit* Windows 10 Pro/Windows 10 Enterprise/Windows 10 Education/Windows 10 Home 32/64-bit Windows Server 2008 Standard SP2 32/64-bit Windows Server 2008 R2 Standard SP1 64-bit Windows Server 2012 Standard 64-bit* Windows Server 2012 R2 Standard 64-bit* Windows Server 2016 Standard 64-bit * スタート画面では動作しない
OS言語	ドイツ語/英語/スペイン語/フランス語/イタリア語/ポーランド語/ロシア語/トルコ語/ タイ語/韓国語/中国語 (簡体字)/日本語
ソフトウェア (ランタイムライブラリ)	.NET Framework 3.5 SP1 .NET Framework 4.5 .NET Framework 4.7 – 上記いずれかがインストールされていること

対応カメラ

対応カメラ	ME20F-SHN、VB-H45、VB-M44、VB-H730F Mk II、VB-S30D Mk II、VB-S31D Mk II、 VB-S800D Mk II、VB-S900F Mk II、VB-S805D Mk II、VB-S905F Mk II、 VB-H761LVE-H、VB-H751LE-H、VB-M741LE-H、VB-S30VE、VB-S800VE、 VB-S910F、VB-R13VE、VB-R13、VB-R12VE、VB-M50B、VB-H652LVE、 VB-H651VE、VB-H651V、VB-H761LVE、VB-H760VE、VB-H751LE、VB-R11VE、 VB-R11、VB-R10VE、VB-M641VE、VB-M641V、VB-M640VE、VB-M640V、 VB-M741LE、VB-M740E
-------	---

インストール

本ユーティリティは、インストーラーからインストールします (インストーラー名 : VBToolsInstall.exe)。インストール方法の詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。



インストールが完了したら、デスクトップに本ユーティリティのアイコンが表示されます。



2章



録画映像ユーティリティの操作

録画映像ユーティリティの操作方法について説明します。

録画映像ユーティリティを起動する

PCにインストールした本ユーティリティを起動して、カメラにマウントされているメモリーカードに保存した映像の一覧を表示します。

起動する

本ユーティリティをインストールすると、デスクトップに本ユーティリティのアイコンが表示されます。このアイコンから本ユーティリティを起動します。

重要

カメラでパノラマ作成をしているときは、本ユーティリティを起動できません。また、本ユーティリティの操作中にパノラマ作成が実行された場合、カメラへのアクセスが発生する操作時に本ユーティリティは終了します。

メモ

Windowsファイアウォールが有効になっているPCで本ユーティリティを使用するには、ファイアウォール経由での通信を許可するアプリケーションとして、本ユーティリティを登録しておく必要があります。登録しなかった場合、本ユーティリティを起動したときにファイアウォールによって本ユーティリティがブロックされますが、[はい] をクリックすると本ユーティリティを起動できます。

1 デスクトップ上の [録画映像ユーティリティ] のアイコンをダブルクリックする



本ユーティリティが起動します。

2 接続先カメラの情報を入力する

接続先カメラの指定ダイアログボックス。以下の項目が入力可能で、右側に番号(1)から(7)が付いています。

- (1) ホスト名: 入力欄
- (2) SSL通信を使用する: チェックボックス
- (3) ポート番号: 80 (入力欄)
- (4) 管理者名: 入力欄
- (5) パスワード: 入力欄
- (6) ユーザー名: 入力欄 (プロキシ認証セクション内)
- (7) パスワード: 入力欄 (プロキシ認証セクション内)

OKとキャンセルのボタンが下部にあります。

接続先カメラの指定

- (1) [ホスト名]
カメラのホスト名またはIPアドレスを入力します。
- (2) [SSL通信を使用する]
SSL通信でカメラに接続する場合にチェックします。
- (3) [ポート番号]
カメラのポート番号を入力します。通常はデフォルトのままにします。
- (4) [管理者名]
カメラの管理者名を入力します。

(5) [パスワード]

カメラの管理者パスワードを入力します。

プロキシ認証

(6) [ユーザー名]

プロキシサーバーを使用する場合、プロキシサーバーのユーザー名を入力します。

(7) [パスワード]

プロキシサーバーを使用する場合、プロキシサーバーのパスワードを入力します。

3 [OK] をクリックする

接続先カメラのメモリーカードに保存したデータがメイン画面に表示されます。

メイン画面各部の名称



(1) 映像一覧操作

メモリーカードに保存された映像の一覧表示や、PCへのダウンロードなどを行います。

(2) フィルター

映像一覧で表示する映像を絞り込むことができます。詳細は、「映像一覧に表示する映像を絞り込む」(P. 17) を参照してください。

(3) 映像再生部

映像操作部の映像一覧で選択された映像の再生を行います。詳細は、「映像を再生する」(P. 23) を参照してください。

映像一覧を操作する

映像一覧の表示内容について

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	ヘッダー
日時	映像フォーマット	録画種別	カメラ内の映像	ダウンロード状態	
2015/07/30 11:00:00 - 11:59:59	JPEG	タイマー	有	ダウンロード済み	
2015/07/30 12:00:00 - 12:59:59	JPEG	タイマー	有	ダウンロード済み	
2015/07/31 13:00:00 - 13:59:59	H.264	タイマー	有	未ダウンロード	

メモ

各項目のヘッダーをクリックすると、クリックした項目の表示順 (昇順・降順) が変わります。

(1) [日時]

映像の録画日と、時間帯が表示されます。

メモ

カメラの設定ページで [タイムゾーン] を変更した場合、本ユーティリティの再起動後に、変更後の日時が反映されます。

(2) [映像フォーマット]

録画された映像のフォーマット ([JPEG] または [H.264]) が表示されます。

(3) [録画種別]

録画された映像の種別が表示されます。

- [アップロード]：カメラからのアップロードに失敗した映像
- [手動]：手動録画した映像
- [タイマー]：タイマーにより録画した映像
- [イベント]：イベントの発生により録画した映像
- [録画ストリーム]：RM録画ストリーム使用時の映像配信に失敗した映像
- [ONVIF]：ONVIFで録画された映像

(4) [カメラ内の映像]

メモリーカードに映像が残っているかどうかが表示されます。

映像のダウンロード後に、メモリーカードから映像を削除すると、[無] が表示されます。

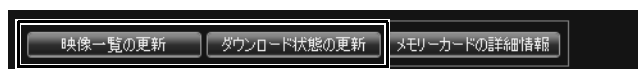
(5) [ダウンロード状態]

映像のダウンロード状態 ([ダウンロード済み]、[未ダウンロード]、[一部ダウンロード済み]) が表示されます。

最新の状態に更新する

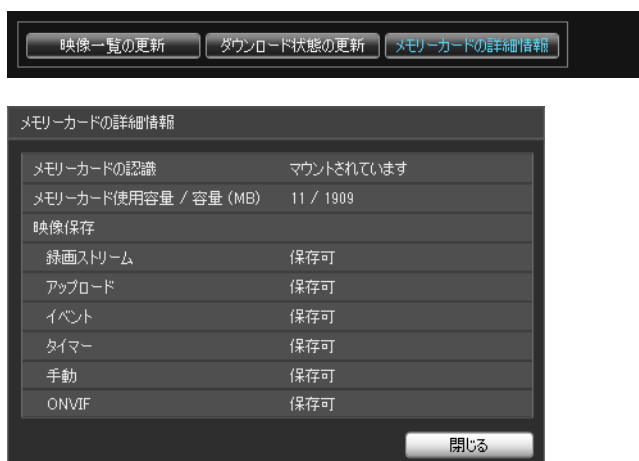
[映像一覧の更新] をクリックすると、映像一覧が最新の情報に更新されます。

[ダウンロード状態の更新] をクリックすると、映像一覧のダウンロード状態の表示が、最新の状態に更新されます。



メモリーカードの情報を表示する

[メモリーカードの詳細情報] をクリックすると、カメラにマウントされているメモリーカードの情報が表示されます。



映像一覧に表示する映像を絞り込む

[フィルター] で、映像一覧の表示を必要な映像だけに絞り込むことができます。



(1) [日時]

[開始日時を指定する]

チェックして日時を入力すると、指定された日時以降に録画された映像が表示されます。

[終了日時を指定する]

チェックして日時を入力すると、指定された日時以前に録画された映像が表示されます。

(2) [映像フォーマット]

[指定する] を選択し、表示させたい映像の録画フォーマットをチェックします (複数選択可能)。

(3) [録画種別]

[指定する] を選択し、表示させたい映像の録画種別をチェックします (複数選択可能)。

(4) [カメラ内の映像]

メモリーカード内の映像の有無で絞ります。

(5) [ダウンロード状態]

[指定する] を選択し、表示させたい映像のダウンロード状態をチェックします (複数選択可能)。

(6) [フィルターの適用]

クリックすると、設定した条件に合致する映像のみ表示されます。

映像をダウンロードする/削除する

カメラにマウントされているメモリーカードに録画されている映像を、PCにダウンロードします。
メモリーカードの映像やPCにダウンロードした映像の削除もできます。

映像をダウンロードする

1 [ダウンロード先] に、映像を保存するフォルダのパスを入力する

[参照] をクリックして、表示されるダイアログでフォルダを指定できます。



2 映像一覧で、ダウンロードする映像をクリックして選択する

複数の映像を選択する場合は、Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら映像をクリックします。

[すべて選択] ボタンをクリックすると、すべての映像が選択されます。

3 [ダウンロード] をクリックする

指定したフォルダに映像がダウンロードされます。

重要

- 本ユーティリティは、PCにダウンロードしたファイルとメモリーカードの元の映像の両方を管理対象とするため、PCにダウンロードしたファイルを手動で削除すると、映像一覧に正しく反映されません。手動で削除した場合は、[ダウンロード状態の更新] をクリックして、最新の状態に更新してください。
- 映像のダウンロード後にカメラの日付設定を戻すと、映像 ID は異なるが記録日時が重複するファイルが存在する可能性があります。そのような場合に、映像のダウンロードを行うと、後からダウンロードされたファイルは記録されません。

メモ

- ダウンロード先を変更すると、変更前のダウンロード先にあったファイルのダウンロード状態が [未ダウンロード] になります。変更前のダウンロード先にあるファイルを、手動で変更後のダウンロード先のフォルダにコピーすると、ダウンロード状態が [ダウンロード済み] になります。
ダウンロード先として指定したフォルダには、カメラのIPアドレスと同じ名前のフォルダ (たとえば [192.168.100.1]) が自動的に作成され、ダウンロードした映像が保存されます。いったん本ユーティリティを終了してから、PCのエクスプローラーなどで変更前と変更後の各フォルダを参照し、カメラのIPアドレスと同じ名前のフォルダの内容をコピーしてください。
コピー後、再度本ユーティリティを起動し、[ダウンロード状態の更新] をクリックすると、手動でコピーしたファイルが映像一覧に表示されます。
ダウンロード先のフォルダの構成とファイルの命名ルールについては、「ダウンロードしたデータについて」(P. 21) を参照してください。
- カメラの設定ページでオフセットの異なるタイムゾーンに変更した場合、[一部ダウンロード済み] の映像は、[ダウンロード済み] 映像として映像一覧に表示されます。また、これとは別に、[一部ダウンロード済み] または [ダウンロード済み] の映像は、タイムゾーン変更後のローカルタイムで [未ダウンロード] 映像として映像一覧に表示されます。

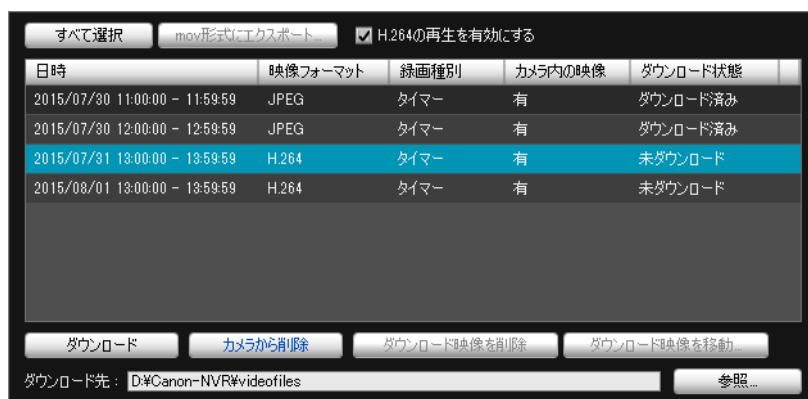
映像を削除する

メモリーカードの映像や、PCにダウンロードした映像を削除します。

■ メモリーカードの映像を削除する

1 映像一覧で、削除する映像を選択する

2 [カメラから削除] をクリックする



メモリーカードから映像が削除されます。

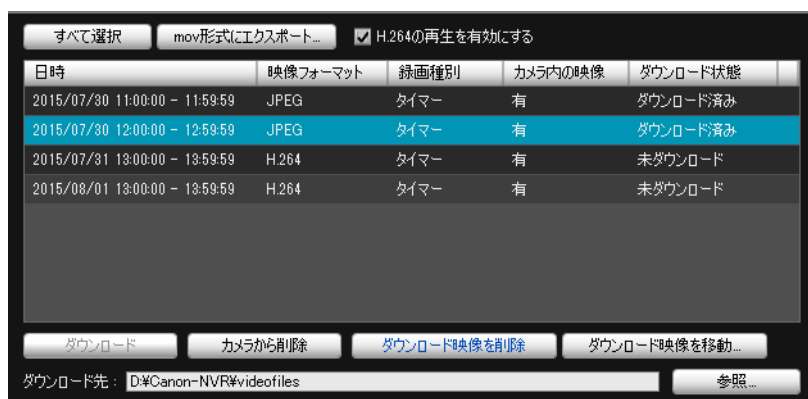
メモ

- 選択した映像の中に、未ダウンロードの映像が含まれている場合、削除を確認するメッセージが表示されます。
- 映像の削除は、該当するファイル数が多いほど時間がかかります。たとえば、1時間分の映像 (映像一覧では1つのアイテム) を削除する場合でも、数分かかることがあります。

■ ダウンロードした映像をPCから削除する

1 映像一覧で、PCから削除する [ダウンロード済み] の映像を選択する

2 [ダウンロード映像を削除] をクリックする



映像がPCから削除されます。

PCにダウンロードした映像を別のフォルダに移動する

- 1 映像一覧で、移動する [ダウンロード済み] の映像を選択する
- 2 [ダウンロード映像を移動] をクリックする



[フォルダーの参照] ダイアログが表示されます。

- 3 移動先のフォルダを選択し、[OK] をクリックする

映像が指定したフォルダに移動します。

再生可能な動画ファイルにエクスポートする

PCにダウンロードした映像を、PCで再生可能なmov形式の動画ファイルにエクスポートします。
H.264映像の場合は、複数に分割されたファイルが1つのファイルに結合されます。

- 1 映像一覧で、エクスポートする映像を選択する

エクスポートできるのは、映像一覧の [ダウンロード状態] が [ダウンロード済み] の映像です。

- 2 [mov形式にエクスポート] をクリックする



[フォルダーの参照] ダイアログが表示されます。

- 3 エクスポート先のフォルダを選択し、[OK] をクリックする

映像がエクスポートされます。

メモ

- エクスポートしたmov形式の動画ファイルは、movファイルの再生をサポートするOS標準もしくはその他のソフトウェアで再生してください。ただし、これらのソフトウェアを用いた場合の再生動作の保証はしていません。

- 記録途中で録画映像サイズが変更された JPEG の録画映像は、mov 形式の動画ファイルにエクスポートしても、一部の動作再生ソフトウェアでは再生できません。
- エクスポート先のフォルダと、映像一覧操作の [ダウンロード先] フォルダは異なるものを指定してください。同じフォルダにすると、映像一覧に表示されることがあります。

ダウンロードしたデータについて

メモリーカードの映像を、本ユーティリティを使って PC などにダウンロードした場合、映像データは、次のようなフォルダ構造とファイル名で保存されます。

■ フォルダの構造

例：IPアドレス192.168.100.1のカメラで2015/9/10の16:00:00～16:59:59 (JST) に手動録画で記録されたH.264の映像

D:\¥work ¥ 192.168.100.1 ¥ 20150910 ¥ 070000_075959 _+9_ M_ H264

└──┐	└──┐	└──┐	└──┐	└──┐	└──┐	└──┐
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)

(1) [ダウンロード先] に指定したフォルダ

(2) カメラのIPアドレス

(3) 映像の録画日

(4) 録画開始時刻_終了時刻 (UTC)

(5) UTCとの時差

(6) 録画種別

E： イベント

M： 手動録画

R： 録画ストリーム

T： タイマー

U： アップロード

O： ONVIF

(7) 映像フォーマット (JPEGまたはH.264)

📄 メモ

- フォルダは1時間単位で作成されます。
- 録画開始時刻_終了時刻に時差を足すと、現地時間になります。

■ ファイル名のフォーマット

例：2015/9/10の16:06:19から手動録画を実行した場合

20150910 070618-070619-M0000000001.mov

└──┐	└──┐	└──┐	└──┐
(1)	(2)	(3)	(4)

(1) 映像の録画日

(2) ファイル作成時刻 (UTC)

(3) 録画開始時刻 (UTC)

(4) 録画種別

E： イベント

M： 手動録画

R： 録画ストリーム
T： タイマー
U： アップロード
O： ONVIF

メモ

- ファイルの作成は実際の録画時刻より先行します。
- 録画が数秒以上続いたことで複数の映像ファイルが作成されたときは、(2) とファイル名末尾の連番が異なるファイル名となります。上記の例で録画開始 (16:06:19) から4秒後に新しいファイルに切り換えられた場合は、次のファイル名になります。
20150910070623-070619-M000000002.mov
16:06:19に開始された録画の続きなので、(3) 録画開始時刻は070619のままです。また、ファイル名末尾の連番は1つ進んでいます。

映像を再生する

映像一覧で選択した映像は、[映像再生] エリアで再生できます。
映像フォーマットによって、再生の操作が異なります。

メモ

[ダウンロード済み] の映像の場合、PCにダウンロードされた映像が再生されます。ダウンロードが完了していない映像は、メモリーカードにある映像が再生されます。

JPEG映像の再生

メモ

本ユーティリティのダウンロード機能以外でダウンロード、または作成したJPEG映像が映像一覧にある場合、その映像を再生したとき、映像再生部に表示される総フレーム数や映像再生順序が不正になることがあります。

1 映像一覧で、再生したいJPEG映像を選択する

[映像再生] に、選択した映像の先頭フレーム画像と情報が表示されます。



(1) [録画日時]

表示されている映像フレームの撮影日時が表示されます。

(2) [再生フレーム番号]

表示されている映像のフレーム番号と総フレーム数が表示されます。

(3) [再生間隔]

[実時間]

記録時間に合わせた実時間間隔で再生します。空きフレームは直前のフレームが表示されます。ダウンロード済み映像の再生時のみ選択できます。

[等間隔]

JPEG映像を1秒間隔で連続して表示します。

(4) 再生コントロール

再生の操作を行います。

2 再生コントロールを操作して再生する



メモ

[未ダウンロード] または [一部ダウンロード済み] のJPEG映像は、撮影した順番通りに再生されないことがあります。

(1) スライダー

スライダー上をクリックするか、つまみをドラッグして再生位置を変更できます。

(2) 操作ボタン

各ボタンの機能は次のとおりです。

	先頭フレームに移動
	前のフレームに移動
	早戻し
	再生
	一時停止
	早送り
	次のフレームに移動
	末尾フレームに移動

(3) [再生フレームを保存]

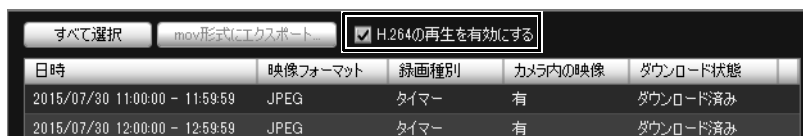
表示中の映像フレームを別ファイルとして保存できます。

メモ

[再生フレームを保存] で指定するフォルダと、映像一覧操作の [ダウンロード先] フォルダは異なるものを指定してください。同じフォルダにすると、映像一覧に表示されることがあります。

H.264映像の再生

1 [H.264の再生を有効にする] をチェックする



「ソフトウェア使用許諾契約書」ダイアログが表示されます。

2 [はい] をクリックする

カメラからH.264のデコーダーがダウンロードされます。

3 映像一覧で、再生したいH.264映像を選択する

[映像再生] に、選択した映像の先頭フレーム画像と情報が表示されます。



(1) [録画日時]

表示されている映像フレームの撮影日時が表示されます。

(2) [再生ファイル番号]

表示されている映像のファイル番号と、映像内の総ファイル数が表示されます。

(3) [再生間隔]

[実時間]

記録時間に合わせた実時間間隔で再生します。空きフレームは直前のフレームが表示されます。ダウンロード済み映像の再生時のみ選択できます。

[等間隔]

断続的にフレームが記録された映像でも、再生間隔を直前のフレーム間隔のみとすることで、短時間で再生します。

(4) 再生コントロール

再生の操作を行います。

4 再生コントロールを操作して再生する



メモ

- [未ダウンロード] または [一部ダウンロード済み] の映像の場合、ファイルをダウンロードしながら再生するため、ネットワーク環境によってはファイルの切り換え時に再生が一瞬停止することがあります。
- [未ダウンロード] または [一部ダウンロード済み] の映像は、撮影した順番通りに再生されないことがあります。




(1) スライダー

スライダー上をクリックするか、つまみをドラッグして再生位置を変更できます。

(2) 操作ボタン

各ボタンの機能は次のとおりです。

	先頭フレームに移動
	前のフレームに移動
	再生

	一時停止
	次のフレームに移動
	末尾フレームに移動

(3) [再生フレームを保存]

表示中の映像フレームを別ファイルとして保存できます。

メモ

[再生フレームを保存] で指定するフォルダと、映像一覧操作の [ダウンロード先] フォルダは異なるものを指定してください。同じフォルダにすると、映像一覧に表示されることがあります。

■ H.264映像を外部プレーヤーで再生するには

1 [H.264の再生を有効にする] のチェックを外す

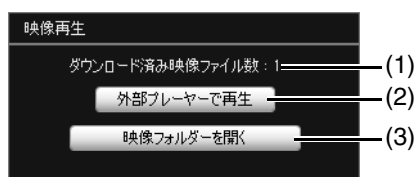
2 映像一覧で、再生したいH.264映像を選択する

外部プレーヤー再生の画面が表示されます。

メモ

外部プレーヤーでH.264映像を再生するためには、映像をPCにダウンロードしておく必要があります (P. 18)。

3 外部プレーヤーで再生する



(1) [ダウンロード済み映像ファイル数]

映像を構成するダウンロード済みのファイル数が表示されます。

(2) [外部プレーヤーで再生]

外部プレーヤー (Windows Media Player など) を起動し、選択した映像を再生します。

(3) [映像フォルダーを開く]

選択した映像が保存されているフォルダを開きます。フォルダの動画ファイルをダブルクリックして映像を再生できます。

メモ

- ダウンロードされたH.264映像ファイルの拡張子は「.mov」になります。
- mov形式のデータサイズが1MB以上になるときは、複数のファイルに分割されます。
- 複数のmovファイルに分割された録画映像は、先頭の1ファイル (数秒) のみが再生されます。連続して再生するためには、[mov形式にエクスポート] してください (P. 20)。
- ダウンロードした mov 形式の動画ファイルは、mov ファイルの再生をサポートする OS 標準もしくはその他のソフトウェアで再生してください。ただし、これらのソフトウェアを用いた場合の再生動作の保証はしていません。

3章



付録

この章では、メッセージ一覧について説明しています。

メッセージ一覧

本ユーティリティ上に表示されるメッセージには、次の3種類があります。

- 情報メッセージ (情報表示レベルのメッセージ)
- 警告メッセージ (注意を促すメッセージ)
- エラーメッセージ (エラーを示すメッセージ)

警告メッセージとエラーメッセージが表示されたときは、次の表に従って対処してください。

警告メッセージ

メッセージ	説明
接続が切れました。ツールを起動し直してください。	カメラとの接続が切断されました。主な理由は次のとおりです。 – PCがスリープまたはサスペンドから復帰した – 本ユーティリティの起動時、[接続先カメラの指定] でカメラと接続しようとしたが、エラーになりそのままキャンセルした – ネットワーク接続が切断された 本ユーティリティを起動し直してください。
ユーザー認証に失敗しました。	[接続先カメラの指定] で入力したカメラの管理者アカウントが間違っています。正しい管理者アカウントを入力してください。
管理者パスワードが変更されたため、接続を終了しました。 ツールを起動し直してください。	本ユーティリティの起動中に、接続に使用した管理者パスワードが変更されました。本ユーティリティを再起動し、カメラに接続し直してください。
カメラ内の映像が見つかりませんでした。 映像一覧を更新してください。	カメラにマウントされたメモリーカードの映像がすでに削除されています。[映像一覧の更新] をクリックして映像一覧を最新の状態にしてください。
ダウンロード済みの映像が見つかりませんでした。 ダウンロード状態を更新してください。	PC内にダウンロードしたファイルが削除または移動されたことにより見つかりませんでした。[ダウンロード状態の更新] をクリックして最新のダウンロード状態にしてください。
カメラにメモリーカードがマウントされていません。	メモリーカードがカメラにマウントされていない状態で、映像一覧の更新や映像のダウンロード、削除など、メモリーカードに対するアクセスが実行されました。カメラにメモリーカードをマウントして、再度操作してください。
メモリーカードがロックされています。	メモリーカードにライトプロテクトがかかっている状態で、映像を削除しようとしています。ライトプロテクトを解除してください。
映像数が上限に達しました。 映像を整理してください。	映像一覧に表示する行数は10,000件が上限です。映像を削除してください。
映像管理情報を再作成中のため、メモリーカードにアクセスできません。 再作成終了後に操作を行ってください。	カメラの設定ページの [メモリーカード] > [メモリーカードの操作] > [映像管理情報の再作成] で [実行] をクリックし、メモリーカード内に作成されている記録映像の管理ファイルを再作成中です。再作成中は、メモリーカードへのアクセス (映像一覧の更新や映像のダウンロード、削除など) は行えません。再作成終了後に、再度操作してください。
他のPCから録画映像ユーティリティが接続しているため接続できません。	同一のカメラに対して、すでに他のPCから本ユーティリティが接続された状態です。本ユーティリティは、カメラ1台に対し、1つだけしか接続できません。
開始日時が終了日時よりも前になるように指定してください。	フィルターの [開始日時] と [終了日時] が不正です。[開始日時] > [終了日時] になるように指定し直してください。
映像フォルダーを開けませんでした。ダウンロード状態を更新してください。	[映像フォルダーを開く] (P. 26) をクリックしたときに、ダウンロードした映像が保存されているフォルダが開けませんでした。[ダウンロード状態の更新] をクリックし、ダウンロード状態を最新にして再度実行してください。

メッセージ	説明
外部プレーヤーの起動に失敗しました。	[外部プレーヤーで再生] (P. 26) をクリックしたときに、H.264映像を再生するために外部プレーヤーが起動できませんでした。外部プレーヤーが正しくインストールされているか、ご確認ください。
メモリーカードにアクセスできません。 設定ページで映像管理情報を再作成してください。	カメラの設定ページで [メモリーカード] > [メモリーカードの情報] > [映像管理情報の状態] が [映像管理情報の再作成が必要] になっているため、メモリーカードにアクセスできません。 [メモリーカード] > [メモリーカードの操作] > [映像管理情報の再作成] で [実行] をクリックし、管理ファイルを再作成してください。
選択中の映像が上書きされたため、再生できません。	異なる映像フォーマットで上書きされた映像を選択、もしくは直接再生した場合に表示されます。 また、同じ映像フォーマットで、映像開始時間より2時間以降の映像で上書きされた映像を選択、もしくは直接再生した場合にも表示されます。
選択中の映像が上書きされたため、ダウンロードできません。	異なる映像フォーマットで上書きされた映像をダウンロードした場合に表示されます。 また、同じ映像フォーマットで、映像開始時間より2時間以降の映像で上書きされた映像をダウンロードした場合にも表示されます。
アプリケーションが起動できませんでした。 .NET Framework 3.5 (SP1以降)をインストールしてください。	.NET Framework 3.5 (SP1以降) がインストールされていません。インストール後、本ユーティリティを起動してください。
指定されたカメラはネットワークカメラではないか、または、動作対象外の機種です。	接続対象外のカメラ、もしくはカメラ以外のネットワーク機器を指定しています。接続先カメラをご確認ください。
映像が削除できませんでした。 映像一覧を更新してください。	[録画種別] が [録画ストリーム] の映像を削除しようとしたときに、すでに削除されていると、本メッセージが表示されます。 [映像一覧の更新] をクリックして映像一覧を最新の状態にしてください。

エラーメッセージ

メッセージ	説明
カメラとの通信に問題が発生したため、接続を終了しました。	カメラの電源が入っているか、LANケーブルが接続されているか、ネットワークの設定が正しいかなど、カメラとの接続をご確認ください。
movファイルの生成に失敗しました。	メモリーカードから取得した映像をmovファイルにエクスポートするときにエラーが発生しました。 [mov形式にエクスポート] のエクスポート先に指定したフォルダが読み取り専用になっていないかなど、フォルダが書き込み可能かどうかをご確認ください。
映像一覧の更新に失敗しました。	映像一覧を更新する際に、[ダウンロード先] に指定したフォルダが読み取り専用になっている、などの理由で書き込みができない場合に表示されます。 [ダウンロード先] に、書き込み可能なフォルダを指定してください。
ファイルの保存に失敗しました。	メモリーカードの映像をPCにダウンロードする際に、[ダウンロード先] に指定したフォルダが読み取り専用になっている、などの理由で書き込みができない場合に表示されます。[ダウンロード先] に、書き込み可能なフォルダを指定してください。 また、カメラからすでに削除された映像をダウンロードしようとした場合にも表示されます。[映像一覧の更新] をクリックして映像一覧を最新の状態にしてください。
カメラからの映像一覧の取得に失敗しました。	映像一覧を取得中にカメラとの通信が切断され、一時的にカメラから映像一覧が取得できない場合に表示されます。 しばらくしてから再度 [映像一覧の更新] をクリックしてください。
ダウンロード状態の更新に失敗しました。	[ダウンロード状態の更新] をクリックしたときに、[ダウンロード先] に指定したフォルダが読み取り専用になっている、などの理由で書き込みができない場合に表示されます。 [ダウンロード先] に、書き込み可能なフォルダを指定してください。

メッセージ	説明
ダウンロード先の指定に失敗しました。	[ダウンロード先] に指定したフォルダに、適切なアクセス権がない (読み取り専用になっている、書き込み権限がないなど) 場合に表示されます。 [ダウンロード先] には、書き込み可能なフォルダを指定してください。
カメラとの接続に失敗しました。	接続不可になっているカメラを選択して、カメラとの通信が発生する操作を行っています。 カメラとの接続を確認してください。
Canon Network Camera H.264 Decoderの初期化に失敗しました	Windowsの再起動をしてください。 それでも本メッセージが表示される場合は、本ユーティリティをいったんアンインストールして、再度インストールしてください。
ファイルが破損しているため、操作を継続できません。	ダウンロードした映像を再生する際に、そのファイルが壊れている場合などに表示されます。再度映像をダウンロードしてください。
ダウンロード映像の削除に失敗しました。	ダウンロード済み映像を削除する際に、ダウンロードしたフォルダが読み取り専用を設定され、ダウンロード映像が削除できない場合に表示されます。 フォルダの設定を確認してください。
ダウンロード映像の移動に失敗しました。	ダウンロード済み映像を移動する際に、ダウンロードしたフォルダまたはダウンロード映像の移動先フォルダが読み取り専用を設定され、ダウンロード映像が移動できない場合に表示されます。 フォルダの設定を確認してください。

トラブルシューティング

販売店やお客様相談センターに連絡する前に、次のことを確認してください。
ログメッセージが表示されている場合は、ログメッセージ一覧の内容と対策を参考にしてください。

メモ

- カメラのトラブルシューティングについては、カメラの『操作ガイド』を参照してください。
- セキュリティソフトウェアが原因となって、問題が発生する場合があります。
ご利用のセキュリティソフトウェアで、カメラや問題が発生したソフトウェアの除外設定を行ってください。

問題	対処方法
録画映像ユーティリティを起動できない	<ul style="list-style-type: none"> [Windowsファイアウォール] 機能が有効に設定されている可能性があります。許可されたプログラムとして本ユーティリティを登録する必要があります。ファイアウォール設定の詳細は、カメラの『操作ガイド』を参照してください。 カメラの設定ページでパノラマ作成中は、本ユーティリティを起動できません。 複数のPCから本ユーティリティを使用して、同一のカメラに接続できません。
映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 映像一覧を更新してください。 ダウンロード状態を更新してください。
映像一覧の表示に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードに大量の映像ファイルを記録すると、本ユーティリティで映像一覧を表示する際に、ファイル数に比例して時間がかかるようになります。カメラの設定ページの[メモリーカード] > [メモリーカードの操作] > [映像の自動削除] で保存期間を短く設定したり、本ユーティリティで定期的に手動で削除するなど、不要な映像ファイルはできる限り削除するようにしてください。 また、メモリーカードに記録する映像フォーマットにH.264を指定すると、JPEGで記録するときよりも映像ファイル数を抑えることができます。
一部のダイアログが英語で表示される	<ul style="list-style-type: none"> Windows UpdateでMicrosoft .NET Frameworkの言語パックをインストールしてください。

索引

H

H.264映像24

J

JPEG映像23

イ

インストール11

エ

映像再生23

映像フォーマット16

シ

システム要件10

タ

対応カメラ10

ダウンロード18, 21

フ

フィルター17

メ

メモリーカードの情報17

□


録画種別16

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、お客様相談センターをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター

ネットワークカメラ / モニタリング機器

 **050-555-90074**

受付時間 <平日> 9:00～17:00 (土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

上記番号をご利用いただけない場合は ☎ 043-211-9622 をご利用ください。

IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。